THE ROTARY CLUB OF YAMATO—NAKA

大和中ロータリークラブ会報

YOU ARE THE KEY あなたが鍵です

1985～'86 R.I 会長 エドワード F カドマン

上田会長 クラブターゲット 仲よく 語ろう ロータリー

第 400 回 例会 61年 6月 19日 第 406 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
53名	42名	80.77％	100％

欠席者 (10名) 病欠1名 (種ケ島)
橋本、細野、飯島、神作、加藤、古田土、小島
三浦、大西、山中

本日のプログラム	6月 26日
上田利久会長、近藤冨士男幹事 「一年を顧みて」	
次週予定	7月 3日
新年度にあたり 1986～'87年度会長 幹事	

司会 SAA 伊藤英夫君
ソングリーダー 北砂富三君「我等の生業」

≪ビジター≫

川辺春雄君（土浦）
小島清滋君、松元文治君（横浜瀬谷）
蒲生秀雄君、鈴木竹次郎君、小沢昭治君
北原敬二君、太田正孝君、野口栄三郎君
藤本 孝君、開保津国彦君、樋渡金彦君
高坂武紘君（大和）

≪会長報告≫

○ 6月15日（日）にサン薬品ＫＫ中庭で開かれた「中国留学生を励ます会」には十数名もの有志の方々のご参加を頂きました。中国語、英語、日本語入り混じっての交歓会、ついさそわれて可愛いらしい英語で自己紹介をしたり、大変楽しい一時でした。国際奉仕委員会、親睦活動委員会、助人としてガンバって下さったトミー北砂さんに感謝致します。ご都合で参加出来なかった方は、次回、このような会がもたれました時には、是非御参加下さい。因に参加資格を申し上げますと、日本語がわかる事、そしてアッと驚く英会話の出来る方であります。

○ 既に皆様ご承知のところでありますが、ジェフマーチン君の仲立ちでオーストラリア・マーメイドビーチＲＣとの間に100＄小包交換を行っており、先方の会長さんから返信を頂きましたので回覧致します。

○ まことに残念なお知らせですが、北海道で仕事をなさっておられる大西昭さん、以前からホームクラブの出席については理事会の承認を得てい

1．真実かどうか　3．好意と友情を深めるか
2．みんなに公平か　4．みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中央1－5－40
大和市商工会館内
☎0462－63－7926
例会場：大和市大和南1－4－4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462－64－3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：上田利久
会長イレクト：藤田重成
副会長：富沢重徳
幹事：近藤冨士男
会報委員：松崎・種ケ島・木村

たのですが、6月からはメーキャップさえも出来なくなってしまったという事で退会願いが提出されまして、先程の理事会で承認されました。

≪幹事報告≫

○来週の例会は、本年度最後の例会となります。年度内に処理する案件がございますので臨時の理事・役員会を開催致しますので、理事役員の方々は予定しておいて下さい。

≪委員会報告≫

国際奉仕委員会　　委員長　後藤定毅君

先日の15日日曜日の「中国留学生を励まし語る会」には多勢の方の御参加を頂きまして、大変盛大にできましたことを厚く御礼申し上げます。

広報委員会　　委員長　金井大輔君

6月8日の社会奉仕委員会主催の写真が出来ましたので回覧致しますので、注文される方は名前を書いて下さい。尚、このうち2枚程をロータリーの友に送りたいと思いますので、良いと思う写真の番号に○印をつけて下さい。その中から選びたいと思います。

次年度幹事　　土屋翁三君

本日例会終了後、次年度の理事役員の会を行ないたいと思いますのでお残り下さい。

≪お　　祝≫　　おめでとうございます！

創業記念日	寺田伍六君	(6月20日)
	長野俊八君	(6月21日)
御夫人お誕生日	岡本重之君久美子夫人	(6月　日)
入会記念日	芦田敬治君	(53年6月23日)
	藤田重成君	(　〃　)
	長谷川清一君	(　〃　)
	猪熊唯夫君	(　〃　)
	伊藤英夫君	(　〃　)
	亀谷志郎君	(53年6月23日)
	北砂富三君	(　〃　)
	寺田伍六君	(　〃　)
	富沢重徳君	(　〃　)
	土屋翁三君	(　〃　)
	上田利久君	(　〃　)

マーメイド　ビーチ　RC　からの便り

拝啓　上田会長　殿

私達から呼び掛けさせて頂きました小包交換に対し好意あるご返信を頂き感謝いたしております。

たった今、包装を終え6月9日(月)の便にてお送りいたします。多分1週間以内にお手元に届くと思います。

皆様が私達オーストラリアからの小包にご満足頂けるならば幸せであります。そしてこれからも気楽な気分で続けられたらと願っております。

このプロジェクトをご一緒出来ますことを大変感謝いたしております。

貴兄のクラブメンバーの方で、オーストラリアにお出掛けの際には是非お立寄り下さい。

敬　具

マーメイド　ビーチ　R.C.
ゴードン　ノースコット

この手紙は当クラブから小包交換の件をぜひやりましょうという手紙に対する返信です。

当クラブからは2週間程前に国際奉仕委員会の方々のお骨折りで日本情緒豊かな下駄や日傘をすでに発送しておりますが、まだ届いていない時の手紙のようです。

第7回クラブ協議会

○会長　　上田利久君

この一年間、まずもって皆様方のご理解とご協力を頂きましたこと、深く感謝致します。

今年度は定められたホスト役もなく、気楽な年でありましたが反面マンネリ化しやすいという点もなくもありませんでした。ご縁があって当クラブに入会して頂いた比較的新しい方々に、なるべく早くクラブにとけ込んで頂きたい。そして同時にロータリーについて少しでも興味を持って頂きたいという願いのもとに、及ばずながら進めさせて頂いた訳であります。時として失礼の点があったかも知れませんが、ロータリー精神に免じてお許しとご了承を頂ければと思っております。たまたま、不幸中の幸いと申しましょうか、決議23－34というテーマが降って湧いて参りました。
津田パストガバナーを混じえてのフォーラム、さらには幾つかの委員会によるフォーラム、炉辺会合等を通して皆で一緒にガヤガヤと討論することが出来ましたこと、それなりの収穫があったものと信じております。

ロータリーの奉仕活動はその結果を余り云々する必要はないと思います。ですから報告というよりは、ご感想、もしもう一年やるとしたらどんな点に気を付ければいいかというような点についてお話を頂く方がよいかと思います。

私としましては、この一年間特に卓話時間の確保、例会終了時間厳守ということでやらせて頂きましたが、親睦、スマイル等を相殺してしまった点もなくもありません。

先日も一寸ふれさせて頂きましたが、他クラブを訪門された時などの印象なども含め外野からみた中クラブの運営についてご指摘を頂ければ幸いであります。

ここで改めまして、かく申す私、健康上の理由とは申せ最も大切なガバナー公式訪門の時の第三回クラブ協議会を欠席いたしましたこと、大変申し訳なく、また心苦しく思っております。幸いにも亀谷前分区代理、富沢副会長、近藤幹事そして各委員会の皆さま方の適切なる対応によりガバナーも非常に満足されたようで、成功裡に終えて頂きましたこと、あらためて感謝申し上げる次第です。

○クラブ奉仕委員会　　富沢重徳君

年度始めに4つのポイントを挙げて活動指針としたが満足とはいえないまでもある程度の前進、実現はできたと思う。先ず1番目の会長の年度方針の具体的展開を図ることについてはプログラム委員会にお願いをして4回に亘る卓話シリーズによってテーマへのアプローチを図った。第2の新会員のクラブへの融和協調についてはクラブ奉仕のフォーラムでクラブ奉仕の基本概念や出席、親睦の重要性の勉強会を行った。第3の「仲良く語ろうロータリー」の雰囲気作りには親睦を始め、いろいろな委員会による炉辺会合、一泊研修会、家族会等が役立ったと思う。問題はこれに出席しなければ論外ということになるが……。最後の会員のコンセンサスを得る事項の討論会については5年振りにクラブ内規の改訂作業を行い、円卓会議、小委員会、諮問委員会等の協議を経て、目出度く理事会の決定を見たということである。これで多少なりともクラブ運営がやり良くなり、皆の為に役立てばと期待をする次第である。

いずれにしても自分の仕事以外に地域社会や同業界や子供及び家庭への協力や……と非常に多忙を極める中でロータリーに出席し、積極的に活動計画を達成消化してゆくことは並大低のことではない。何もできなかったと笑いとばしてその場をすごしても別段罰を受ける訳ではないから構わないのだろうが、会員として席を置き、お互いに同じ権利と義務を持つ者である以上、何か一つでも自分にできる仕事をして役割を終りたいものだと思う。

○出席委員会　　長野俊八君

当委員会は基本的には出席率をいかに高くし大

いに語れる場を拡大することに任務があったわけです。本年度は委員会炉辺会合の機会を頂き多数の方の出席によって勉強会ができまして会員各位には出席の重要性を認識して頂いたことと思います。

例会出席ですが前期につきましては100％が達成できない週がありましたが後期は現在100％出席が続いております。

欠席の原因を見ますと新入会員の方に多いことです。これは入会を進める段階において出席について詳しい説明が必要であると思います。

○クラブ会報委員会　　松崎正実君

一年間なんとか終了しそうです。もしも毎週自分一人で原稿書きをやっていたら、今頃この文章を書いていないのではないか。と感じる程大変な作業をして下さいました事務局の高橋さんに心から感謝致しております。全体の$\frac{1}{5}$程ですが夜間例会やＩＧＦなどの原稿書きをやりました。少なくとも４～５時間を費して作り上げた時の**ウレシ**さは一言に嬉しいなどと書けるものではありません。しかしこれが毎週だったら**ツラ**さしか感じないのではないでしょうか。

会報には校正という仕事があり、例会に欠席した時も卓話の内容がわかりました。会報をやる前には正直言ってあまり読んだことがありませんで、前任の委員長さん達に申し訳なく思いました。

クラブ計画書に載せました編集方針はできる限り守ってきたつもりでおります。

次年度の委員長の二見さん、大変そうに見える委員会ですが、本当はやはり大変なのです。

大変である事は会員なら承知していますので、原稿を依頼しても皆喜んで書いてくれると信じて、積極的に活動して下さい。

会員の皆様、この一年間ありがとうございました。

事務局の高橋さん、本当にお世話になりました。いろいろとありがとうございました。

○広報委員会　　金井大輔君

一般世間での報道と違って、ロータリーの広報の難しさを実感しました。また奉仕とはそれほど難しく、個人にとっては、哲学的視野に広っているからだと思います。その個人個人のロータリアンが活動するものは、社会の人々が心から喜び、生き甲斐を感じ、社会に感謝をする念を教えなければならないと思います。その活動の広報ですので形式、内容等は謙虚でなければならないし、また目的を達するものでなければなりません。本年度は活動方針を充分練ったものの、予算の都合上で物理的にも、また、内容ある活動が出来なかったのが残念でありますが、しかし次年度にその活動の内容を託して、本年度はいくらかなりとも準備はできました。これを広報委員会としての責任の一端を担ったものとせめてもの自負としたい。

○職業奉仕委員会　　清水洋三君

奉仕という文字がついているためにどうしても

“Service above self”

という言葉を──→考える──→ことの多い１ケ年であった。

“Service above self”は“Service and self”と改めるべきであるという発想の妥当性について色々と説いてまわったのだが「好い年をして　そんな言葉尻を摑まえるようなつまらぬ真似はよせ」という一言で意欲を失い１ケ年が経ってしまった。

しかしこの問題は言葉の尻が持ち上って来るのではなく頭から持ち上って来る根本的な思想に関するものであり、しかも東洋と西洋とがぶつかり合う面白いところでもあるので、何時の日にか若いロータリアンがこの道を堀り下げてくれることを望んでいる。

“Service and self”と改めるべきであるという考えは今も変っていない。

○社会奉仕委員会　　古木勝治君

① 〝子供達に動物的ぬくもりを〟会長ターゲットのサブテーマに基づいて活動した当委員会は、

今子育て盛りの父母を対象に講演会やアンケート調査をした。工業化社会の現代、我が子について各々関心がありながら、子供達に対し動物的ぬくもりや親子のふれあいが、人生感や社会環境の変化により次第に欠如していく事がわかり更に行政や社会に不満がある事がわかったこと。

② 身体の不自由な子供達とその家族を一日レクリエーションに招待し、ロータリアン共々汗をかき楽しい一日を過せた事は、一般市民や、関係各種団体から、我がクラブにご厚情を寄せられ、又神奈川新聞に掲載され報道された事は、意義ある活動であったと思う。

会員諸氏に感謝致します。

○青少年奉仕委員会　　高橋政勝君

次代を背負う青少年に積極的に援助・協力をしていきたいと目標をもって進めてまいりましたが、この目標は達成されたと確信しています。

我々ロータリアンは青少年の健全育成に対する環境づくり、そして青少年の考え方など学びそして地域での活動に助長することが出来ました。

とくにオーストラリヤ交換学生と中学生の交換会については85年は国際青年の年に因んで実施出来たことは、青少年を大きな視野に立つことにお手伝いが出来た事は画期的であったと思います。

（会長）

『子供達に動物的な温もりを』というテーマについて皆さんとご一緒に考えさせて頂いてきたところでありますが、その結果とまでは申せませんが、中間報告的なことについて少し述べさせて頂きます。

皆さんのご家庭はそれぞれ恵まれ優しい温もりのある人間関係を保っておられますし、また子育てというのは今迄の男性にとっては縁のないお話といった感じであったと思います。

宮内先生のふれ合い教育、国府津先生の経験的なお話、そしてシリーズ卓話などを通して青少年の自殺、非行、いじめ等々の背景について少しは理解が進んだのではないかと思っております。

申すまでもなくこのことは家庭の躾、学校教育、文明社会のひずみ等々幾つもの悪い因子の織りなした結果であり、軽々しく論じる訳には参りません。しかしながら物言わぬ子供（Infant）すなわち乳幼児の母と子の温もり、いわゆる子育てもその一つとして忘れることは出来ません。

社会奉仕、青少年奉仕委員会のご協力を得まして「21世紀の子育て意識調査」をさせて頂きました。大和市子供会連絡協議会、県医師会主催の保健医療セミナーの席上、子供の病気についての講議をするかたわら集計いたしました。まだ300足らずの中間集計ですがちょっと話させて頂きます。

アンケート№8ですが、仕事を持っている為可愛さが伝わる前に職場に戻らなければならない共働き組に対するタイムバンクシステム（妻は身軽な働ける間に、夫も可能な範囲内でこれに協力、休日・時間外出勤なども含め、ある時間を企業体に預けておき後日育児休暇の一部に充当するシステム。）について。

賛成60％　　反対30％　　その他10％

本人達の認識はいま一つといったところでありますが、幸いおもて向きは男女雇用法も成立され、良い方向に動きつつあります。行政の手に移ればロータリーの仕事は終りになると思います。

専業主婦の問題があります。現在専業主婦と共働きの割合は7：3といわれており、数少ない子供を一生懸命になり過ぎている余り、過干渉、過保護であり、その上子供同志ふれ合うこともなく大人達の中で大切に育て上げられているというこの現状に対してであります。

今、仕事を持っていないと公立の保育所では預かってもらえません。母親がいない、長期入院、仕事を持っているなど、子育てが出来ないから、仕方がないから預ってやろうというのが今の行政の対応であります。ですから、市役所では今だに

福祉課の管轄となっております。

アンケート№14の保育所への入所規定を、母親がいないからとか、仕事を持っているからとか、福祉的に考えるのではなく、誰でも預って（有料）もらうことが出来ればよいと思いますか。
の問に対して、賛成98％、その他2％ という数字が出ております。現在保育所では定員より少ない人数しか預っていない所があります。これは今申し上げましたように、福祉的な考え方が残っているからです。今はまだ中間集計の段階でありますが、機会をみて地方行政へアプローチ出来ればなどと秘かに思ったりしております。

御協力を感謝致します。

長時間にわたりご討議頂きまして有難うございました。一年間を経験しそれぞれの立場からのご感想とアドバイスを頂き感謝致します。
先程もふれましたが、ロータリーの奉仕活動は皆で考えて、皆で参加することこそ必要であり、結果をあまり云々し過ぎない方がよいのではないかとの思いがあります。

毎年毎年それぞれの委員会に所属し、参加し、行動することが必要なわけであります。とうぜん新らしいものにはそれぞれの期待があります。
次年度のクラブ活動を楽しみにしております。

本当に一年間、**アリガトウゴザイマシタ。**

≪スマイルボックス≫　委員　石渡英二郎君

川辺春雄君（土浦）　遠方よりお邪魔致します。どうぞ宜しくお願い致します。

小島清滋君（横浜瀬谷）お世話になります。

松元文治君（横浜瀬谷）初めてお邪魔します。よろしくお願いします。

蒲生秀雄君（大和）　おあつくなりました。選挙でますますあつくなりました。どうぞよろしく。

鈴木竹次郎君（大和）　久しぶりにお伺いしました。よろしくお願い致します。

小沢昭治君（大和）　度々お伺いしてお世話になります。

北原敬二君（大和）　久しぶりにおじゃま致します。どうぞ宜しく。

野口栄三郎君（大和）　本日は御世話になります。

藤本　孝君（大和）　本日、お邪魔します。

開保津国彦君（大和）　本日はお世話になります。尚、大和田園ＲＣのゴルフ委員長をしている息子昭彦が当クラブの後藤さん、長野さん、上村さんに助けて頂いたとの事であずかって来ましたので合せてスマイル致します。

高坂武紘君（大和）　本日はお世話になります。

上田利久君　「中国留学生を励ます会」アカデミックな面もあり、大変楽しい一時でした。国際奉仕・親睦委員会そして心優しき有志の方々に感謝して。

後藤定毅君　「中国留学生を励まし、語る会」には多勢の方の出席ありがとうございました。

寺田伍六君　お蔭様で創業28年目を迎えました。頑張ります。職業奉仕を心して。

長野俊八君　創業記念日祝って頂き有難うございます。

芦田君、藤田君、長谷川君、猪熊君、伊藤君、亀谷君、松本忠君、寺田君、富沢君、土屋君、上田君
入会記念日祝、だんだんカビが生えて来ました。次年度リフレッシュして初心にかえり、再び原動力となるよう心掛けます。

中西　功君　ロータリー財団への御協力有難うございました。なんとか目標を突破いたしました。

布施光雄君　亀谷先生には大変御世話になりました。お蔭で親父も大分元気になりました。

高橋政勝君　今日は急な用事のため、早退させていただきます。

編集後記

各委員会からそれぞれ今年度の感想、次年度への希望などの討論がありました。今回の編集にあたり、次年度への布石として提出を頂いた原稿を中心にまとめてみましたので、御了承下さい。（松）